

会 議 録

会議の名称		令和2年度第1回守谷市地域公共交通活性化協議会		
開催日時		令和2年7月1日（水） 開会：午後2時　閉会：午後3時30分		
開催場所		市役所 議会棟2階 全員協議会室		
事務局(担当課)		都市整備部 都市計画課		
出席者	委 員	佐野委員，飯塚委員，村山委員，亙理委員，飯島委員， 田尻委員，中島委員，寺田委員，宮野入委員，泉委員， 酒井代理，土井委員，吉岡委員，服部委員，武藤委員， 片山委員，渡邊委員，告委員，古谷委員 以上 19名		
	市職員	石塚課長，坂本課長補佐，高野係長，野元主事，小山技師 以上 5名		
公開・非公開 の状況		☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開	傍聴者数	3名
公開不可の場合 はその理由				
会議次第		1 開会 2 副市長あいさつ 3 委嘱状交付 4 新委員の紹介 5 会長，副会長の選出 6 議事 (1) 協議事項 議案第1号 令和元年度事業実績及び収支決算について 議案第2号 令和2年度事業計画（案）及び収支予算（案）について 議案第3号 守谷市地域内フィーダー系統確保維持計画（案）について (2) 報告事項 報告第1号 守谷市デマンド乗合交通の利用状況について 報告第2号 モコバスの利用状況について 報告第3号 モコバス無料デーの実施結果について 報告第4号 高齢者運転免許自主返納事業実績報告について 報告第5号 現状の課題について 報告第6号 令和元年度守谷市公共交通網再編実証実験の 検証報告書 7 その他 8 閉会		
確定年月日		会議録署名		
令和2年7月13日		会 長 田 尻 昭 二		

審 議 経 過

1 開会

2 副市長あいさつ

3 委嘱状の交付

4 新委員の紹介

5 会長、副会長の選出

会長に田尻昭二委員，副会長に谷口綾子委員を選出

6 議事

(1) 協議事項

●議案第1号 令和元年度事業実績及び収支決算について

【事務局から説明】

○意見・質問等

特になし

【採決の結果，全員賛成により承認】

●議案第2号 令和2年度事業計画（案）及び収支予算（案）について

【事務局から説明】

○意見・質問等

亘 理 委 員：今年度予算額の歳出の事業費について，前年度予算額より 2,000 万円以上増額している要因は何か。

事 務 局：令和2年度については，デマンド乗合交通の運行台数が今年7月から3台から4台へ増車している。また，モコバスの車両を2台購入する予定であり，その分の増額となっている。

亘 理 委 員：今年度のモコバスの新規車両購入を除くと，デマンド乗合交通の経費が増えるという理解でよいか。また，来年度以降も同様に推移すると考えてよいか。

事 務 局：デマンド乗合交通についてはおっしゃるとおりである。モコバス車両については，8年リースであるので，8年間継続して支出が生じる。状態が変わらなければ来年度以降も同じような金額で推移していく。

酒 井 代 理：歳入の諸収入の項目に，ジョイフル本田負担金とあるが，何のための負担金なのか。また，令和元年度実績で6万円とあるが，決算では，29,810円である。この違いは何か。

事 務 局：昨年度においては，ジョイフル本田様と10月1日から契約しているため，半年分の実績になっている。今年度は1年間として見たた

め昨年実績の2倍相当額とさせていただいている。また、こちらの負担金は、デマンド乗合交通を利用してジョイフル本田守谷店を利用・買い物をした方を対象に、割引券を発行し、運行経費負担分を出していただいているものである。

酒井代理：この負担金はあくまで運賃相当分ということで理解した。

寺田委員：モコバス車両の購入について、8年間のリースということだが、以前のバスについてはどのように支払っていたのか。また、デマンドでは、年間の経費が5割近く増えている。その要因は何か。

事務局：以前のモコバスの車両については、リースではなく、購入したため、購入年度にのみ支出していた。また、デマンドでは、先ほど説明した3台から4台へ増車したことに加え、1日1台当たりの車両の借上料が2万円から2万5千円に上がったことも要因となる。

【採決の結果、全員賛成により承認】

●議案第3号 守谷市地域内フィーダー系統確保維持計画（案）について
【事務局から説明】

○意見・質問等

中島委員：事業目標について伺いたい。この目標の利用者数を想定すると、さらに車両の増加をする必要があるかと思うが、さらに増車することは可能であるのか。令和5年度の19,000人という目標も4台での運行で間に合うのか。

事務局：令和元年度の実績が3台体制で13,274人であり、今年度から4台体制となる。昨年度実績の中で、3台でも8月、9月、10月のように利用者が月1,300人を超えている時期もあった。19,000人というのは、4台運行で月1,600人程度を見込んでいる数値である。

寺田委員：デマンドの利用登録者は現在何人くらいか。1割程度だと思うが。

事務局：現在登録者は、約2,700人であり、対象者は約15,000人であるので、約18%の登録率になっている。

亘理委員：フィーダー系統確保維持計画について、これは国が費用の2分の1を補助するものという理解でよいのか。

事務局：対象となるのは、運行経費から収入額を差し引いた分に対して2分の1の補助となる。令和2年度計画においては、令和2年4月から9月までの半年分が今回申請の対象月となるので、実質4分の1と見ている。

亘理委員：その金額は令和2年度予算の歳入上には入ってくるのか。

古谷委員：今回の予算には、補助金という形では入ってこない。これは、この計画を申請して許可を受けてから決定するものなので、現時点では予算化することはできない。この申請が通れば予算の補正という形で歳入の補正案を上げたい。

亘理委員：認められればかなり大きな金額が収入に入ってきて歳出を補助する形になるということか。

事務局：負担金の財源が守谷市の負担金となるので、その金額を減らさせていただきます。

田尻会長：フィーダー系統の承認で国から支援がいただけるということであれば非常にいい話ではないか。

【採決の結果、全員賛成により承認】

●報告第1号～6号

【事務局から説明】

○意見・質問等

寺田委員：新しくデマンドに登録したいと思っている人は市役所に来ないと登録できないのか。

事務局：市役所と公民館、保健センター、文化会館で受付ができる。

寺田委員：本人が行けない場合、代理で登録することはできるのか。

事務局：代理で登録できる。公民館等の場合は、ポストが設置されているので、記入した登録用紙を入れていただくだけになっている。

泉委員：みずき野地区で通院に利用しているのは、取手市のJA取手、取手医師会病院等である。デマンドの市外運行については、現時点で行けないと分かっているが、今回の計画の中で、効率を上げるということに関し、今後、市を跨いだ移動についても考えているのか。

古谷委員：デマンドは当初、守谷市内に限るということで導入したが、他市町村に乗り入れているケースもある。今後については、市を跨いだ運行についても検討していきたいが、運行台数が限られているので、1回の距離が遠くなると、その分利用者が減ってしまう等の問題もある。利用料金についても、市内300円の他に市外利用の際の料金設定についても検証しないといけない。様々な要素を踏まえつつ、どんな形で実現できるかどうか含めて検討していきたい。

佐野委員：守谷A地区から通院を考えると、総合守谷第一病院より、取手医師会病院に行く方が近い。

古谷委員：検討させていただきたい。

酒井代理：他市への乗り入れについて、近隣の市町村を跨ぐ場合、隣接の市町村の交通会議等で了解をもらうことが必要になってきて、そういった調整が調べば乗り入れもできなくはない。県内でも古河市が境町の茨城西南医療センター病院に乗り入れているケースもある。

また、実証実験報告書におけるP8で、デマンドの利用者の目標値の算出方法について、デマンド乗合交通と言いながら乗合は考慮していないというのはなぜか。

古谷委員：こちらの目標値を設定するに当たり、導入の段階では乗合の割合をどの程度にするかということが不明であったため、目標値の算出には乗合を考慮せずに行った。ただ、乗合は検証の結果を受け、予約システムの改良等も進めているところであるが、まだ実験段階であるため、この報告書には記載していない。

酒 井 代 理：乗合が効率的になれば，お断り件数も減少する可能性があるので，うまく研究して取り組むとよいのではないか。

田 尻 会 長：今までの報告では，モコバス，デマンドについてもある程度順調に運行しているという評価である。また，モコバスについては，事業者と継続して改善案を協議中との話もあるので，できるだけ早く協議をしていただけたらと思う。

7 その他

事 務 局：次回の協議会開催の予定は，秋頃を予定している。

○意見・質問等

特になし

8 閉会